

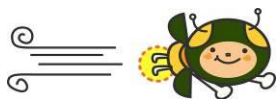
国崎クリーンセンター啓発施設指定管理業務 業務の実施状況及び見学者の状況

(平成 28 年度 概要版)

目 次

1. くにっぺからのメッセージ	1
2. ミッションと業務遂行について	2
3. 運営事業の紹介	2
(ア) 学ぶ・知る機会の提供	
(イ) 地域と連携	
(ウ) 広める活動	
(エ) その他	
4. 事業運営体制	9
(ア) 運営体制	
(イ) 職員のスキルアップ	
5. 見学・貸館状況	10
(ア) 見学・出前での利用状況	
(イ) 各室別利用状況(催事・有料・減免利用含む)	
(ウ) 8 年間のあゆみ	
6. 人数・売上の推移	13
7. 収支状況	14

株式会社 トータルメディア開発研究所



1. くにっぺからのメッセージ

国崎クリーンセンター啓発施設・ゆめほたるは、開設以来8年が経過し、平成28年度は来館者数が最高の年間3万4千人を超えました。これも地域の皆さまに親しまれ、施設への期待が高まっていることと強く感じ、ゆめほたるスタッフ一同、感謝と共にさらなる事業活動の充実を図りたいと考えています。平成28度は、“食”をテーマにワークショップや催事活動を展開し、身近なところにある「ごみ」について注力しました。また地域への出前として恒例になった“かえっこバザール”や“リサイクル工作”は、楽しみながらできるエコアクションの啓発につながり、ゆめほたるの知名度アップにも貢献しています。

さて、おかげさまで、第3期指定管理事業（5年間）も受託させていただきました。今後も、これまで以上に多彩な事業展開において地域のみなさんとの協働、企業・組織団体との連携を充実させてまいります。そして来館者や地域のみなさまのご意見に常に真摯に耳を傾け、体験から“気づき”を得て“行動”へとつながるような啓発事業の増進に、さらなる努力を重ねてまいります。



周辺拡大図



2. ミッションと業務遂行について

第2期（平成24～28年）の指定管理者業務では、国崎クリーンセンターに付属する環境啓発施設として、廃棄物を入口に「環境問題」について広く普及啓発を図るという使命のもと、次のような2つの方向性を持つ「つながる環境ミュージアム」をめざした活動を展開してきました。

廃棄物を活かした社会のつながり

当施設へ日々届けられる「ごみ」を見つめ直し、新たな視点で社会とのつながりについて考える機会を設けることで、「ごみ」をもとに広範囲の環境学習を行えるミュージアムへ。

また「ごみ」を再利用可能な「資源」に戻す知恵＝発想力、創造力を育む場として位置づけます。廃棄物を処理する施設であるとともに、廃棄物の新たな用途を生み出すこともできる施設、すなわち、地域に創造の芽を生み出すクリエイティブセンター（地域創造拠点）を目指します。

里山を活かした自然のつながり

当施設の周辺は日本一の里山といわれています。このロケーション（立地特性）を活かし、現代生活と自然とのつながりを再確認する場として役立つことのできる施設へ。

さらに、手の届く日常を少しでも素敵にするために努力をしている人々や営みの力になりたいと考えています。日本人が日本人として暮らさなくなったために失った大切なものを取り戻すべく、里山を入口に環境が手に取れる「HANDS ON」（体験学習）も目指します。

○つながるための取り組み

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1. ネットワークの構築 | 市民・学校・大学・地元企業等 |
| 2. 地域との協働 | 地域団体との連携、支援活動等 |
| 3. 拠点力の向上 | 環境情報・地域情報の調査収集展示等 |

この使命のもと、施設見学を基本に、ごみ問題や環境問題の現状とその解決に向けた取り組みに関する情報提供（啓発展示、講演会の開催等）を進めています。

3. 運営事業の紹介



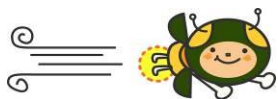
（ア）学ぶ・知る機会の提供
環境について“学ぶ”機会や場を提供する

団体見学対応・調整（平成28年度）

様々な団体の見学を受け入れ、循環型社会構築へ向けたライフスタイルについて一緒に考えました。

- ・見学団体数：64団体、125件（小学校、行政視察他）
- ・見学オプション：15件、764名（廃材ワークショップ、里山学習）





企画展示

ロビーや見学通路を利用し、多角的な視点で環境について考えてもらえるよう啓発に努めました。全 9 件。



エドヒガン林散策ガイド

敷地内の川西市指定文化財「エドヒガン群落」「坑道跡」について、桜の時期にガイドを実施し、地域の貴重な景観を愛でていただく機会を提供しました。実施期間：10日間実施、参加者：116名

講演会

講師を招いて、講演会形式で環境に関心のある人や活動を考えている人たちへの情報発信と、必要な情報を入手できるような場を提供しました。5月～3月 全5回実施。

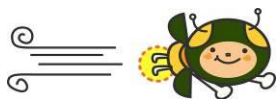


ゆめほたる講師による講座

一市三町に在住または勤務されている方を中心に、本啓発施設で行われるリサイクル系のワークショップ教室でご指導していただく講師を募集・登録し、多くの講師にご活躍いただいています。

講師登録者 38名(平成29年3月時点・更新含む)

講座名	回数	参加人数	内容
木工教室	48	264	里山間伐材・廃材・廃家具などを活用し、必要な物へアップサイクル。
椅子張替え教室	22	70	椅子の座面張替え実習により、モノ大切に暮らす方を広める。
レザーリメイク	78	708	不用レザー製品から必要な物へアップサイクル。
和布リメイク	22	203	不用なキモノや和布を小物や飾りへアップサイクル。
エコ布ぞうり	9	72	不用衣類を利用して、足にも環境にも優しい布ぞうり作り。
パッチワーク	12	44	技法を習得し、端切れや古布をバッグやカッスローにアップサイクル。
廃ガラスで遊ぼう、ガラス工芸	36	157	廃ビンをランプや小物にアップサイクル。
エコクッキング	4	24	キッチンからはじめるエコ活動を実践。
廃材でラジオとアンテナ作り	2	9	廃材を利用してアンテナと高感度ラジオを制作。
廃材で三脚作り&星空観望会	2	55	廃材で三脚を作り、望遠鏡を設置して星空観望を楽しむ。
ダンボールコンポスト	1	4	ダンボールコンポストでゴミ減量啓発。
分解ワークショップ	3	63	小型家電を分解し素材ごとに分別します。
巣箱作り	1	16	巣箱作りと里山の野鳥観察。
里山フラワーアレンジメント	12	48	季節の花で環境意識の醸成。
里山ヨガ	21	252	里山を眺めながらのヨガで環境意識の醸成。
火打石で火をおこそう ～里山のめぐみ 燃料～	1	29	間歩観察、石採り、火おこしで里山学習。
動物ワークショップ	1	24	パネルシアター、里山散策、鹿肉料理で里山学習。
科学実験教室 「もしも原子が見えたなら」	1	8	科学実験教室と物づくり。
里山珈琲講座	10	80	里山と珈琲を楽しむ。
	286件	2130人	



地域と連携し、催事など出向いてごみ減量やリユース活動の他里山の魅力を広めました。



(イ) 地域と連携

地域と一緒に取り組む

開催日	連携先	内容
4月29日	のせでんレールウェイフェスティバル2016	かえっこバザール
5月15日	さと・ひと・たべるクックオフ2016春 in 能勢町浄瑠璃シアター	ダッチオープン料理のノウハウと 春と秋の里山の楽しみ方を広める
7月23日	スマイルフェスタ in 能勢町浄瑠璃シアター	廃材ワークショップ
8月11日	妙見山 山の日フェスタ	エコアクション宣言でエコの木を作ろう
8月18日	ネイチャーランドKYOEI	天体観望会inくになさき ～望遠鏡&廃材を使った三脚づくり～
9月4日	一庫ダム	行こう！フリマと一庫ダム見学へ
9月4日	川西消費者の会	紙芝居「リサとリタ」とデポジット体験
9月10日	豊能町 ふれあいのつどい	かえっこバザール
10月8日	さと・ひと・たべるクックオフ2016秋 in 能勢町浄瑠璃シアター	ダッチオープン料理のノウハウと春の里山の楽しみ方を広める
10月22日	能勢町 感謝とふれあいの広場	廃材ワークショップ
10月23日	阪神北県民局 地域見本市	パネル展示
10月1日 10月10日 10月15日	川西市立中央図書館	映画「もったいない」上映会3回 食品ロス啓発ポスター展示
11月2日	いながわまつり	かえっこバザール エコアクション宣言でエコの木を作ろう
11月13日	とよのまつり	分別クレーンゲーム
12月11日	イオン猪名川チアーズクラブ	クリスマス制作
12月11日	能勢町社会福祉協議会	廃材ワークショップ
3月11日	ネイチャーランドKYOEI	天体観望会inくになさき ～望遠鏡&廃材を使った三脚づくり～
3月18日	川西市キッズりぼん	愛犬の名札作り
3月30日	のせでんごこちマルシェ	かえっこバザール





(ウ) 広める活動

広く情報発信し、広く交流する

情報発信

エコアクションをより身近に感じてもらいやすいように、事業内容・成果など様々な情報を発信しました。

子どもから大人まで誰もが楽しく環境活動に取り組めるように、参加型イベント等を実施。リユース事業により、モノを大事にする暮らし方の普及活動に努めました。催事日には無料シャトルバスを運行し、より多くの方にご利用いただけるように配慮しました。

ファミリーフリーマーケット（屋内）



年4回（6月・9月・12月・3月）に見学ロビー、通路、研修室を利用したフリーマーケットを実施し、モノ大事にする住民の交流の場を提供しました。

2016年度のフリーマーケット出店は 253店、来場者数 5799名でした。

もったいないマーケット（屋外）



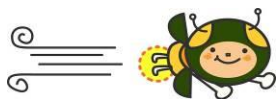
5月と11月の催事に合わせて多目的広場を用いたフリーマーケットを実施し、モノ大事にする住民の交流の場を提供しました。

2016年度の屋外フリーマーケット出店は 48店。

広報の実施状況

① 新聞・情報誌・net への広報

地域情報誌	新聞	会員誌	ウェブサイト	FAX リリース	TV・ラジオ	雑誌	総数
10	4	6	13	4	2	1	40



② ブログ（※月別の掲載数）

<http://kuniccyume.exblog.jp/>

及び メールニュース(※月別の情報発信数)

H28年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	小計
ブログ	17	11	17	19	18	15	12	16	16	7	8	19	175
メールニュース	0	2	0	2	1	2	1	2	1	2	0	2	15

③ その他

facebook 連動で講座案内・ごみ減量アイデア等の情報発信を行いました。また積極的なプレスリリースを行い様々なメディアでご紹介いただきました。

- ・かえっこバザール：「かんさい情報ネット t e n .」（読売テレビ）、読売新聞
- ・JCOM の地域情報番組



（エ） その他

① 地域貢献をめざす「環境情報センター」の活動について

図書コーナー利用実績	
蔵書冊数	2583冊
貸出し数	71件
利用者数	900人

環境啓発の原点に立ち戻り、地域に貢献する環境教育や環境学習についての研究をおこなう組織として、啓発研究組「環境情報センター」の活動を継続しています。

「循環型社会形成」という本施設の目標に向けた道標と位置づけ、日頃ご指導をいただいている学識経験者の先生方をはじめ、地域のみなさまや職員に至るまで、ゆめほたるの啓発活動に関わる人々の知恵や経験を集成し、研究会や紀要の発行などを通して、今後の啓発活動に役立つ成果を探究しています。

● 廃棄物資源循環学会・環境学習施設研究部会（通称・環境学習施設を考える会）事務局



ゆめほたるで平成28年3月に発起人会を開催した「環境学習施設を考える会」は、12月7日に設立記念講演会・総会を開催し、設立。11月には廃棄物資源循環学会の研究部会として承認され、学会の研究部会としての活動も開始。12月の設立総会では、国崎クリーンセンター啓発施設・ゆめほたる「環境情報センター」が、事務局として選任。

②運営懇話会の開催(最終)

本啓発施設をよりよく維持向上させていくことを目的に、当該指定管理事業の支援機能として、有識者・研究者・教育関係者・組合・住民代表らによって「運営懇話会」を設置しています。懇話会では、地域・関係機関や各種団体との連携、そして地域全体を視野に入れた事業運営を検証するとともに、地域住民の積極的な運営参加を推進してきました。H28年度は10月6日に最後の運営懇話会を実施し、指定管理第3期以降は新たな委員会へ支援機能を移行します。

③クラブ活動支援

クラブ名	内容
里山クラブ木工班	木工技術の向上と廃材活用。
エコクッキングクラブ	エコクッキングを追及し、楽しむ活動を月1回ペースで実施。
トンボ玉クラブ	トンボ玉制作のスキルアップの他、廃ガラスを使ったトンボ玉制作にも挑戦中。
里山わんだふるクラブ	地域の住民が発起人の愛犬家クラブ。 H28年度末時点での登録は127頭。
そばクラブ	そば打ちのスキルアップと地域住民交流。



④コンテスト開催



4月～7月
環境イラストコンテスト



1月～3月
ステナアイデアコンテスト

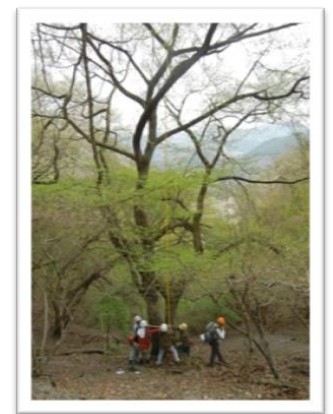
⑤里山林維持管理事業の協力

[活動内容]

- 活動期間：4月～3月（5, 6, 1, 2月は活動なし）
- 活動場所：自然学習ゾーン全域
- 内 容：安全点検、丸太階段補修、シカ柵補修、下刈り、障害木伐木、障害枝剪定、外来植物除去、倒木伐採撤去、枯木撤去処理、ヒノキ伐木、ヒノキなどの常緑樹伐木、穴開き箇所補修、エドヒガン維持管理（毎木調査、実生木伐採、被陰樹伐木）

[今後の課題]

- 自然学習ゾーンの安全点検強化。
- エドヒガン群落の生育環境保全。
- 鉱物採掘跡（坑道）の保全と、坑道内外に生息する動植物の保全・保護。
- シカ害などの獣害対策。
- ナラ枯れなどの病虫害対策。
- シカ不嗜好植物の外来植物繁茂抑制。

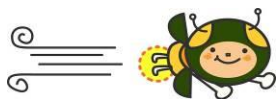


5. 見学・貸館状況

(ア) 見学・出前での利用状況

(単位: 人)

月	総利用者数	見学 出前	部屋利用のみ	備 考
4月	2,870	2,483	387	小学校・行政等団体見学、出前
5月	3,644	2,136	1,508	小学校・地域の団体見学、催事
6月	3,121	1,184	1,937	小学校・行政等団体見学、催事
7月	2,278	1,496	782	小学校・地域の団体見学、出前
8月	2,585	1,743	842	地域の団体見学、各種ワークショップ開催
9月	4,126	1,821	2,305	小学校・行政等団体見学、出前、催事
10月	3,161	2,033	1,128	小学校・行政等団体見学、出前
11月	5,533	3,128	2,405	地域まるごと里山まつり開催
12月	2,918	1,562	1,356	小学校・行政等団体見学
1月	504	369	135	行政等団体見学
2月	645	418	227	養護学校・行政等団体見学
3月	3,294	1,962	1,332	催事・各種ワークショップ開催
	34,679	20,335	14,344	



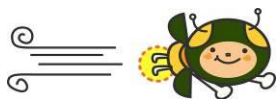
(イ) 各室別利用状況(催事・有料・減免利用含む)

施設名称	利用回数	利用者数 (人)	おもな利用
研修室	105	7,179	講演会、フリーマーケット等
軽作業室	71	1,429	各種ワークショップ・クラブ活動等
制作工房	109	1,260	各種ワークショップ・クラブ活動等
修理工房	130	1,900	各種ワークショップ・クラブ活動等
講座室	20	311	川西市出前講座等
視聴覚室	8	62	救命講座、視察対応等
会議室	13	42	会議、リユース家具内覧
多目的広場	34	5251	催事、サッカー、ラグビー
ドッグラン広場	182	667	ドッグラン利用
合 計	672	18,101	

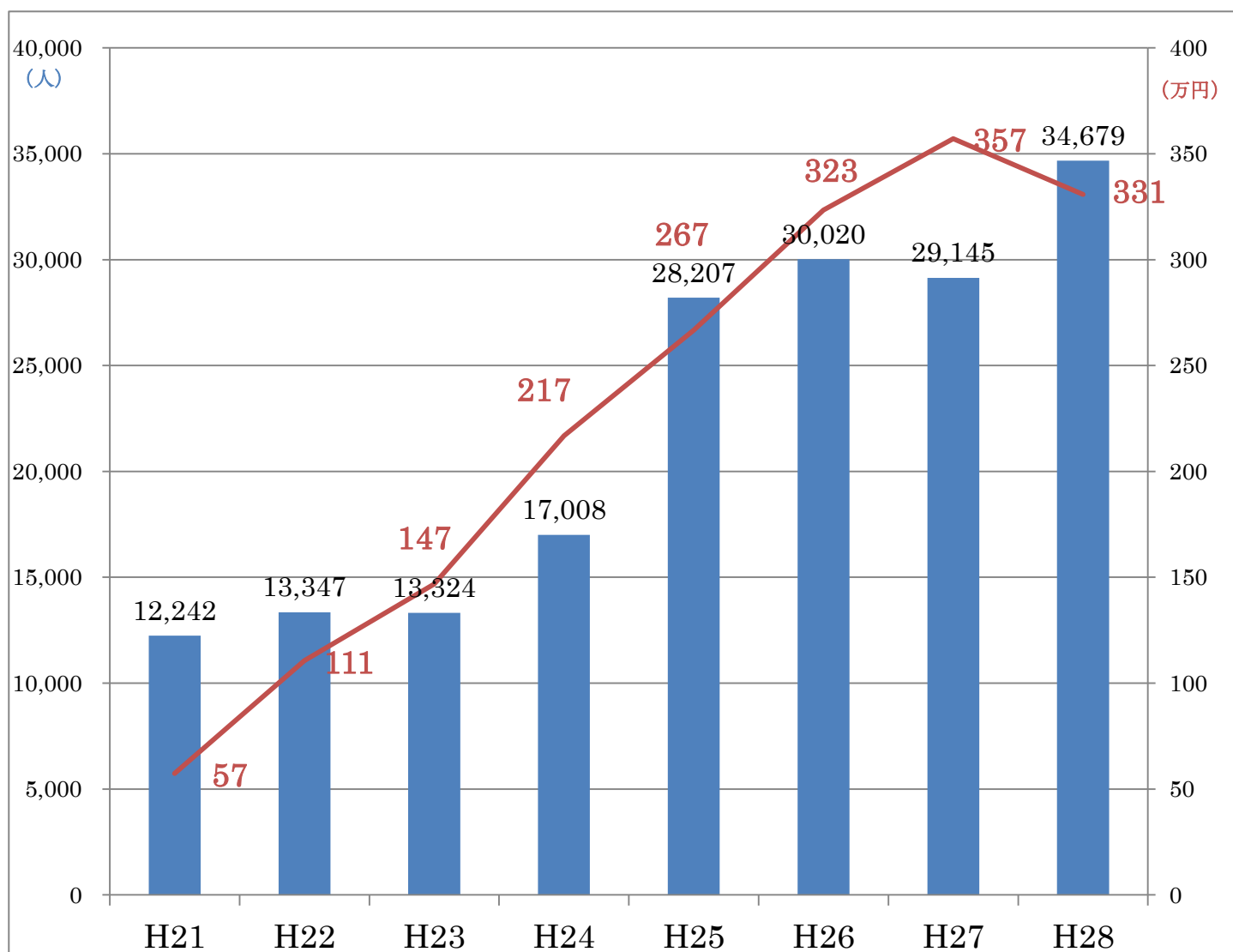
*行政視察等で施設組合が利用した回数と人数を追加しています。

(ウ) 8 年間の主なあゆみ

西暦	平成	月	歩み（概要）
2009	21	5 月 9 月 10 月 11 月 12 月	・開館 ・記念講演会、愛称「ゆめほたる」決定 ・ゆめほたる講師登録会開始 ・多目的広場貸出開始 ・阪神北・環境フェスタ 2009 会場 ・紅葉まつり開始 ・ファミリーフリーマーケット開始
2010	22	4 月 5 月 6 月 9 月 10 月 12 月	・環境イラストコンテスト開始 ・こどもの日催事開始（カップ座） ・フリーマーケットでのリユース家具抽選会開始 ・ジャズとホテルの夕べ開始 ・ごみ旅行①②実施 ・環境フォトコンテスト実施 ・かえっこバザールでの出前開始 ・第 1 回ステナイデア開催（能勢電鉄廃棄制服活用事業、京都造形芸術大学との連携） ・無料シャトルバス運行開始（12/23）
2011	23	7 月 8 月 10 月	・多目的広場貸出再開（7 月～10 月） ・ごみ旅行③実施 ・夏の昆虫館実施 ・のせでんレールウェイフェスティバル出前開始
2012	24	4 月 7 月 8 月 11 月 3 月	・木工教室開始 ・ごみステリーツアー開催 ・夏の昆虫館実施 ・地域まるごと里山まつり開催（北摂里山博物館・阪神北県民局・黒川まちづくり推進協議会連携） ・ステナイデア・エドヒガンフェスタ開催 ・かえるステーション開設 ・里山ドッグランオープン
2013	25	6 月 7 月 8 月	・エドヒガンを未来へ残そう実施 ・夏の昆虫館実施 ・キャンプハウスを作ろう実施
2014	26	4 月 8 月～ 3 月	・エドヒガン林散策が 1 年開始 ・エドヒガン花見バスツアー実施 ・夏休みスタンプラリー開始 ・ティピーテント作り ・国崎のエドヒガン群落、坑道群が川西市指定文化財として指定
2015	27	4 月 5 月 7 月 10 月～	・エドヒガンスペシャル DAY ・知明湖キャンプ場連携「さとひとたべる」開始 ・夏休み ダンボールであそぼう ・里山保全技術者養成講座実施
2016	28	11 月	・フードドライブ窓口開始



* 8 年間の人数・売上の推移



折れ線：売上推移（万円）

棒：利用人数推移（人）

運営指定管理事業の実施に係わる収支状況(平成 28 年度)			
収入(円)		支出(円)	
項目	金額	項目	金額
指定管理料	70,045,714	人件費	43,505,846
講座・講演会参加費等	2,375,550	事務費	3,823,985
雑収入	933,190	物件費	670,450
		管理費	3,992,300
		事業関連費	10,681,945
		小計	62,674,526
		一般管理費	5,246,265
		消費税(8%)	5,433,663
合 計	73,354,454	合 計	73,354,454